

# IOT推進コンソーシアム 国際連携ワーキンググループ 準天頂衛星利活用サブワーキンググループ について

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局

総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課

経済産業省 製造産業局 宇宙産業室



# 設立背景

- 本年11月からの準天頂衛星 4 機体制によるサービスインを背景に、日本国内では、農業、建設、交通等の各分野で、準天頂衛星のセンチメートル級補強サービスに代表される高精度位置情報を活用した具体的なアプリケーションの展開に向けた取り組みが官民を挙げて進められているところ。また、準天頂衛星に対応した受信機の開発についても、現在、国内/海外メーカーが取り組んでいるところであり、サービス開始に向けた機運が高まってきている状況。
- 準天頂衛星の軌道は、日本上空のみならずアジア、オセアニア地域を広くカバーするものであり、こうした地域においても、準天頂衛星の高精度位置情報を活用したアプリケーションを活用可能。すなわち、国内のみならず、海外にも高精度位置情報を活用したサービス・ソリューションビジネスを展開出来る環境が整いつつある。
- こういった中、既に豪州、タイ等では準天頂衛星を活用したアプリケーションの実証等が官民協力の下進められており、実装に向けて各種課題があることも徐々に判明してきているところ。本サブワーキンググループは、これまで国内外で実施された実証実験等の状況も踏まえつつ、今後のアプリケーションの国内及び海外展開に向けた課題を共有し、その解決策について、官民連携の下、検討することを目的とする。

# IoT推進コンソーシアム

- IoT／ビッグデータ／人工知能時代に対応し、**企業・業種の枠を超えて産学官で利活用を促進**するため、民主導の組織として「IoT推進コンソーシアム」を設立。（平成27年10月23日（金）に設立。）
- 技術開発、利活用、政策課題の解決に向けた提言等を実施。現在、**3,500社（団体）以上**が会員。
- 本コンソーシアムに設置された「国際連携WG」において、新たに、「**準天頂衛星利活用サブワーキンググループ**」を設立。

総会

会長

村井 純 慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科委員長  
環境情報学部 教授

副会長

鵜浦 博夫 日本電信電話株式会社 代表取締役社長  
中西 宏明 株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役

技術開発WG

(スマートIoT推進フォーラム)

先進的モデル事業推進WG

(IoT推進ラボ)

IoTセキュリティWG

データ流通促進WG

国際連携WG

Sub-WG

(分散エネルギーマネジメントシステム)

・送変電／配電管理  
・BEMS, FEMS, HEMS  
・デマンドシステム

等

Sub-WG

(セキュリティ・セーフティ)

・顔認証システム  
・セキュリティシステム  
・センサー技術

等

Sub-WG

(準天頂衛星利活用)

・高精度位置情報  
(農業等)

等

# IoT推進コンソーシアム 準天頂衛星利用サブワーキング 構成員

分野	構成員
有識者	東京大学 柴崎教授
貿易（海外展開）	（一財）日本貿易会
プラント等	（一財）エンジニアリング協会
物流	（公社）日本ロジスティクスシステム協会
自動車	（特非）ITS – Japan
セキュリティ	（一社）全国警備業協会
農機	（一社）日本農業機械工業会
建機	（一社）日本建設機械工業会
測量	（公財）日本測量調査技術協会
LBS	（一財）日本情報経済社会推進協会
情報通信	（一社）電波産業会
	（一社）情報通信ネットワーク産業協会
ファイナンス	（株）日本政策投資銀行
	（株）産業革新機構
QZSSサービス基盤	準天頂衛星システムサービス（株）
	グローバル測位サービス（株）
（オブザーバ）	外務省
（オブザーバ）	文部科学省
（オブザーバ）	農林水産省
（オブザーバ）	国土交通省国土地理院
（オブザーバ）	（一財）衛星測位利用推進センター
（オブザーバ）	衛星測位システム協議会

# サブWGのスコープと期待されるアウトプット

## 1. スコープ

- 準天頂衛星の高精度測位サービスを活用したビジネスの可能性（特に海外展開可能性のあるビジネス）
- 産業側ユーザの評価も踏まえた準天頂衛星の運用・サービスの在り方
- 準天頂衛星システムの将来的な在り方

## 2. 期待されるアウトプット

- 海外展開も前提とした具体的アプリケーション創出に向けた、業界及び関連企業の検討活性化
- 準天頂衛星の測位信号配信サービス等に対する要望
- 準天頂衛星システムの将来的な在り方についてのユーザ要求

# スケジュール（案）

- 第1回 5月15日（火）：サブWGのスコープとアウトプット。準天頂衛星の概要等
- 第2回（6月）：事務局からの利用事例（その1）
- 第3回（7月）：事務局からの利用事例（その2）と委員からの利用例と要望（その1）
- 第4回（8月）：委員からの利用例と要望（その2）
- 第5回（9月）：論点整理と報告準備
- 第6回（10月）：総会/国際連携WGへの報告

\* 事務局は、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、総務省国際戦略局宇宙通信政策課、経済産業省製造産業局宇宙産業室が共同で担当。